

医療機関の障害者雇用動向に関する就労支援機関アンケート（結果概要）

令和2年12月

1. アンケートの趣旨

本年になってから新型コロナウイルス感染症の流行により、医療機関の経営にも少なからぬ影響が生じています。加えて、医療機関でのクラスター発生の報道も影響し、医療機関が就職先としては敬遠される傾向があるような指摘もあります。これから東京都内で障害者雇用を進めようとする医療機関では、先行き不透明な状況のため、障害者雇用の計画が立てづらい面もあります。こうした状況の下で、都内の就労支援センターが関わっている医療機関の障害者雇用について、職場実習や就職の状況に関するアンケート調査を実施することとしました。

2. 実施状況

東京都23区内にある障害者就労支援機関（都の障害者就労支援事業の支援拠点、障害者就業・生活支援センター）のうち協力いただいた11支援機関から回答がありました（令和2年11月から12月）。

3. 集計結果

問1 貴センターの利用者のうち、現時点で医療機関で働かれている利用者はいますか。

- (1) いる 10センター
- (2) いない 1センター

【更問1】医療機関で働かれている利用者の主な業務は何でしょうか。

事務・事務補助（PC入力、経理業務・給与計算、医事課・薬剤部・精神科デイケアでの事務作業、見舞客の受付）

搬送・発送業務（社内便の配達、病院間のメール便、医師の異動先にロッカー内の荷物を送る、職員が発送予定の郵便物を毎日定刻に回収し郵便局で処理）

軽作業（チラシ折り、医療物品の整理、シュレッダー業務、袋たたみ、紙シーツ折、シュレッダー、スピッツのシールはがし、ダイレクトメールなどの封入、ハンコ押し）

清掃（備品等の除菌、機器の洗浄、病棟の清掃、車いす・点滴台・手摺・デイルーム・エレベータホール・更衣室・病室水回り等などの清掃）

ベッドメイキング、ベッド清掃

リネン交換、リネン整理、洗濯

調理補助

看護補助

介護補助・介助

ピアスタッフ

透析患者の送迎ドライバー

【更問2】利用者のいる医療機関の障害者雇用のスタンスは、新型コロナウイルスの影響で変化が生じたでしょうか(医療機関数を()に記載ください)。

- | | |
|-------------------|----------------|
| (1) 特に変化はない | 6センター (26医療機関) |
| (2) 実習や採用に消極的になった | 1センター (2医療機関) |
| (3) 実習や採用に前向きになった | 1センター (1医療機関) |
| (4) 把握していない | 3センター |

問2 利用者や家族には、実習先や就職先として、感染の恐れ等から医療機関を避ける傾向が見られますか。医療機関を避ける傾向

- | | |
|---------------------|-------|
| (1) 避ける方がほとんど | 0センター |
| (2) 避ける方も一部いる | 6センター |
| (3) 避ける方はほとんどいない | 3センター |
| (4) 聞いたことがないので分からない | 2センター |

問3 貴センターでは、医療機関での実習や就職について、どのように考えていますか。
医療機関での実習や採用に対する考え

- | | |
|--------------------------|-------|
| (1) 他の職域と同様に対応する | 7センター |
| (2) 利用者の意向を確認しながら慎重に対応する | 4センター |
| (3) コロナの影響が落ち着くまでは控える | 0センター |

問4 医療機関での障害者雇用について、ご意見や気になることがあれば記載ください。

- ・医療機関に憧れを持っており、コロナ禍においても医療機関に従事することが利用者およびその家族にとって大きなモチベーションになっています。緊急事態宣言中に若干日数自宅待機になる利用者もいましたが、病院は休業できないので、すぐに通常通り出勤しています。幸い精神的に参ってしまう利用者はおりませんでしたが、医療の最前線に立ち働いているというプライドを持って職場がチーム一丸となり、また、支援者からも社会や患者のためによく頑張っているねと本人にエールを送り続けることが、定着支援に重要だと感じています。
- ・【更問2】の補足になりますが、医療機関での実習や採用に関するアプローチが直近ではないため特に変化はないとしています。医療機関側から実習や採用についての相談はございませんでした。相談場面で、新型コロナウイルスに関連した強迫的な不安がある方もおり、そういった方は医療機関で働くことに対して抵抗感が出やすいと推察されます。他業種でも実習が難しい状況であったり、外部者の訪問を控えているところがあったりとありますので、障害者雇用を行う場合、実習や外部者の

訪問などが可能であると、よりご本人様も安心して挑戦できるように思います。

- ・医療従事者の感染対策はどうされているのでしょうか？手帳を持った方が一人で仕事をするような環境が多く、困ったときに報告や質問ができる体制が整っているとより働きやすいと感じます。医療関係の障害者雇用については、パートや契約社員がほとんどなので、待遇面でも他の企業との差を感じることが多い。
- ・当事者にとっては、医療機関なら障害理解があると思われがちだが、実際は他業種とあまり変わらない。その点の留意が必要かもしれない。
- ・当センターでの医療機関への就労は、応募や実習までで採用には至っておりません。今後募集があった場合、求職者に求める感染症対策のレベル感や求職者およびご家族が安心して応募していけるように医療機関の感染症対応状況やコロナ患者受け入れ状況、職場の雰囲気(本人の心理的影響)が分かるものが求人票と別にあると助かります。
- ・医療機関の障害者雇用は、他業種と比較して雇用が遅れてきました。病院の忙しさ、組織の大きさ、複雑さ、病気や障害者に詳しいことから障害者を雇用することには、消極的になっていると感じます。業務内容を見ると、清掃等軽作業が多く、事務職は少ない。病院での精神障害者の雇用は、難しいと感じています。かたや、積極的に取り組もうとするクリニックもあります。上記、中規模病院と歯科クリニックは、ステップアップの雇用の場として開拓しました。中規模病院は、無期雇用で切り替えていただきました。歯科クリニックは、医師会の協力を得て半年から1年のステップアップの場として位置づけられています。その関係から個人クリニックで数時間の清掃をやらせていただくこともありました。病院は、業務内容が多く、切り出しが可能な業種です。雇用は広がる可能性が大きい業種です。
- ・医療機関に支援者が頻繁に支援に入れられない所が出てくるのではないかと（外部の人の立ち入りを禁止する医療機関がある）。ご本人が医療機関で働いているが、ご家族がご本人の職場環境に対して不安を口にすることがあった。
- ・コロナ以前の話だが、精神の方にとっては、医療機関での就労について漠然とした“安心感”を抱いている傾向があった。障害に理解がある、不調時でも対応してくれる、というイメージを持っているようだ。しかし、現状では病院の求人（特に事務関係）は、非常勤や派遣の職員と一緒に働くことも多く、なかなか理解が得られずに続かないケースもあった。
- ・現在約 250 名の利用登録者のうち、医療機関での就労が 1 名と少ない状況です。以前は複数名の利用者が勤務しており、事務補助や清掃業務を行っていました。問 2 にもありましたとおり、このところ医療機関の求人を遠慮される方もいらっしゃいますが、コロナ患者との接触はない事を説明受け、安心して応募を検討される方もいらっしゃいます。応募はするのですが、求められる条件が高いせいか書類選考で不採用になりやすいのが医療機関求人の印象ではあります。